



会長/長岡信裕、幹事/中澤信夫、SAA/渡邊恭司、クラブ運営委員長/永井重孝

例会 毎週月曜日 12:30 上野精養軒 TEL03-3821-2181

事務局 〒110-0008 台東区池之端ヴァッソソシノバズ 704 号 道給万紀子

TEL03-5814-2491 FAX03-5814-2490 e-mail office@tokyo-ueno-rc.com

会員増強・新クラブ結成推進月間

1658回例会 8月22日

NO. 1648

前回の例会報告 8月8日第1657回例会

ロータリーソング「奉仕の理想」

クラブソング「めぐる友愛 夏」

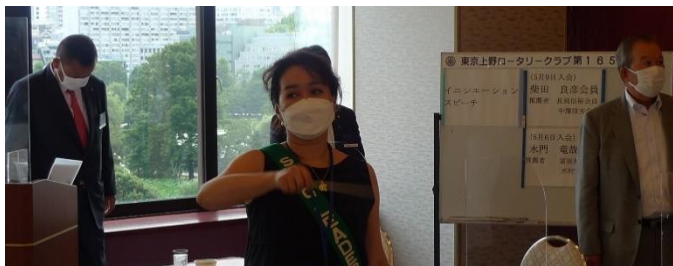
4つのテスト 唱和

米山奨学生 朱 夫誠さん (合計 1名)

■出席報告 (会員 45名内出席免除 6名)

会員数	出席者	出席率	7月25日修正出席率
45(41)	24(2)	66.67%	71.79%

ソングリーダー中島会員



長岡会長 報告



皆様、こんにちは。今日も暑い中をご来会頂き、誠にありがとうございます。

今日は、私と中澤幹事の青年会議所時代の先輩で、東京銀座ロータリークラブの村山さんがメーキャップにお越し頂きました。村山さん、ありがとうございます。

では、今週の会長挨拶をさせていただきます。さて、コロナ新規感染者が世界一になったという嬉しくない報道があります。それはなぜか？ 検査体制の違いがあると

思います。もう既に欧米では海外へ行く為のルールとしてPCR検査を受ける事はあっても、少し具合が悪い・発熱した・のどが痛い等では検査を受けてないんですね。

先日、私の知人がハワイに行った際も、マスクをしているのは日本人観光客だけで、その観光客も2日も経つと慣れてきてマスクを取っている。だから、ハワイでマスクをしている人は、ハワイに来て間もない日本人観光客だとすぐ分かると言っていました。

それは、もう重症化リスクは少ないと科学的に分かっているからであります。しかし、日本ではなぜか未だにちょっとおかしければ検査、検査となり、結果陽性者が増大している。ウイルス学的にもウイルスは徐々に弱毒化しながら拡大していき、やがて集団免疫が出来ていくとされているので、私は今の検査ありきの体制はいかななものかと感じています。しかし、そろそろコロナ感染者の増大もピークアウトではないか？という声も聞こえ始めています。直近の1週間では前週の98、6%と減少しました。今週の数字がどうなるか注視したいと思います。とにかく、もう少しの辛抱かと思えます。

私共の店もキャンセルが続出で困ってます。また、今週は暑さが戻り猛暑日が続きそうです。是非、夏バテ防止の為にも焼肉をお食べ下さい！どうぞ皆様、それぞれ工夫なさってこの暑い夏とコロナを乗り切りましょう。

また、青少年交換生の伊藤摩耶さんがいよいよ渡米されます。8/13土 羽田空港 15時にお見送りに行きますので、お時間ある方はお越し下さい。

当日は、午前中に上野 RAC の例会で、尾中先輩の興味深い卓話があります。合せて、皆様のご参加をお待ちいたします。来週はお盆で例会は休みです。そして再来週 8月22日は、ミニオープン例会です。どうか皆

さんの周りを見回して下さい。きっとどなたか入会候補者の方がいるはずです。是非お声がけ頂きミニオープン例会へお連れ下さい。

皆で一丸となって、会員拡大・増強をしていきましょう。以上で、会長挨拶を終わります。

**幹事報告 RI 関係 特になし**

**他クラブ関係** 例会変更は掲示板をご覧ください

**上野クラブ関係**

・本日は浅草ビューホテルにて新入会員歓迎会があります。入会3年未満の方は16時より3階にて勉強会がありますのでご出席ください。

・次週8月15日はお盆休会で例会は休会です。

・事務局の休みは8月10日(水)～8月17日(水)です。緊急の連絡がある場合は幹事までお願い致します。また、事務局に電話すれば、携帯に繋がるようになっておりますのでご連絡下さい。

**委員会関係 特になし**

**結婚記念日おめでとうございます**

8月 該当者なし

**誕生日おめでとうございます**

8月 18日 中島会員 19日 中村会員  
20日 富坂伸吾会員 30日 富坂和弥会員

**ニコニコボックス**

**長岡会員** 本日は柴田会員、水門会員イニシエーションスピーチを楽しみにしています。

**中澤会員** 柴田さん、水門さんイニシエーションスピーチを楽しみにしています。よろしくお願ひします。

**園部会員** 柴田さん、水門さんイニシエーションスピーチを楽しみにしています。

**捧 会員** 暑い？

**山下会員** 本日の新入会員歓迎会を欠席します。申し訳ございません。

**塚田会員** コロナ陽性お騒がせしました。保健所とメル友になりました。

**柴田会員** イニシエーションスピーチ、緊張していません。今日は、宜しくお願ひ致します。

**水門会員** スピーチ緊張しております。不慣れなので温かい目で見てください。

(本日の合計 42,000円)

(本日までの累計 396,000円)

**イニシエーションスピーチ 柴田良彦会員**

入会日5月9日推薦者長岡信裕会員 中澤信夫会員



この度は、歴史ある上野ロータリークラブに入会させて頂きありがとうございました。また、名立たる経営者の方々を目の前にスピーチできる機会に感謝申し上げます。

さて、私は、1958年1月、東京で生まれました。両親は、学校の先生です。小さい頃、私は、病弱で私の行く末を心配した母が、普通に仕事はできないのではないかと考えピアノを習わせました。弟はヴァイオリンを習っていました。中学1年生になった時、近所の先輩に誘われ、私は、一緒に彼と毎日何キロか走ることを始めました。走りに少しずつ自信がついてきたので、中学2年生の時、中学校対抗の駅伝選考会にエントリーしましたが、落選。二度目の挑戦(中学三年)で駅伝選手になる事が出来ました。高校受験は志望校二高とも不合格となり二次募集で偏差値の低い日本学園高校に入学しました。最初のテストでクラス二番目の成績でしたので、父にその旨を伝えたところ、「刑務所で模範囚だと言って威張っているのと一緒」と一蹴されました。高校時代はラグビー部に所属し、しごきと理不尽な縦社会の洗礼を受けました。1年2年を何とか耐え抜き、三年生の時は、キャプテンを務め都大会でベストエイトへ行く事が出来ました。勉強はできる方では無かったので進学は推薦入学と決めていました。私は、運よく、スポーツ推薦で東京農業大学に入学する事となりました。大学に入ったもののラグビー漬けの生活は変わらず勉強はほとんどしていませんでした。三年生になった時、ブラジル語の授業でブラジル帰りの先輩と知り合い、体育会ながら自然科学系の熱帯殖産研究室に席を置くこととなりました。主任教授と何故かウマが合

い、その後の人生に影響するお付き合いをすることになります。自然科学系の卒論は、実験論文なのですが、体育会に所属している者が毎日の観察は無理でしょうとなり、私の卒論は調査論文となりました。論文の表題は「国内青果市場におけるバナナの占有率と動向について」です。

この時は、教授の提案に乗ったテーマでしたが、私の会社経営に非常に参考になっています。学校の先生を両親に持つ私は、周りの目が気になり卒業後の進路を決めかねていました。(両親は特に言っていなかったが)そこで私は、ブラジル帰りの先輩の影響もあって、ひとまず、ブラジルにエスケープする事にしました。ブラジルでは、ミナスゼライス州・バイヤ州・サンパウロ州で熱帯作物栽培の技術者見習いで一年過ごしました。しかしながら、大学でちゃんと勉強していなかった事が見事に露呈した苦い経験でした。帰国後、その旨教授に話したところ、もう一回勉強すればと言ってくれ、助手として熱帯殖産研究室で働くことになりました。教授に付いて、二年、「アフリカに仕事あるけど行くか」と言われ、私は迷わず行く事決めました。赴任先は、中部アフリカに位置するザイール国(現コンゴ民主共和国)です。そこで私は、日本の鉱山会社の付属農場で400ヘクタールのトウモロコシ栽培、製粉工場の総責任者として4年間働きました。鉱山会社撤退で再び日本に戻り、今後は農業技師として生きていこうと思い、熱帯殖産研究室研究員として次回就職先を捜すことになりました。

次の仕事は、スリランカにあるいちご農場要員としてジュピターコーポ(株)就職。なぜか、社長秘書課に配属になり、秘書業たまに、いちごの研究となった。社長である藤村義朗氏は、第二次世界大戦時、海軍武官としてベルリンに滞在し、米国国務長官ダラスとスイスで裏の和平交渉をした特異な経験を持った方でした。そこで私は、海軍式行動様式を叩き込まれることとなる。農業技師としての仕事を与えられなかったこともあり、私は、二年で退社してブラジルに移住し、大農場主になろうと思いました。そこで私は、会社の経費で調査がきると考え、ブラジル関係の旅行社に就職しました。「言葉遣いが悪い、声がでかい」と言う理由で私は、ブラジルからの出稼ぎ者担当となった。

時は、バブル、どこの工場も人手が足りず、私のセクションは大忙し、ブラジルにもたびたび募集や面接で行

く事となった。出稼ぎ労働者を束ね工場に派遣する会社の社長とも懇意になり業界の仕組みもわかるようになり、栃木のブリヂストンを手始めに起業することになりました。

元手は確か30万円ほどだったと記憶していますが、好景気に支えられ、三年で年商13億円を超え、報酬もそれなりの金額になっていました。(長岡会長、中澤幹事とは、この時代、青年会議所で知り合いました)

一緒に起業したメンバーに増資の度に株を分けていたので、ある日、突然、社長を解任されてしまいました。持ち株が過半数を割っていたのですね。野に下る事となった私は、すぐにでも起業しようと行動しましたが解任された社長への世間の見方は厳しく失意のどん底。たまたま入った、パチンコで儲かったのも、次の日も行くと又、儲かる。そんなことで半年、そんな生活をして過ごしました。

世間も、バブルが弾け、勢いの良かった知り合いも会社を無くしたり、多額の借金を抱えたりしている状態でした。面白いですね。そんな負け組が、昼間からルノアールに集まり、お互いの傷を舐めあい、怪しい商売、投資話で盛り上がり、一山当てようと永遠に続く生産性のない話。いつか辟易して、距離を置くことにしました。パチンコや0円携帯の販売などでは収入は安定しないので、パソナの派遣社員としてIT業界で働きました。

そんな中、以前の会社から独立した会社から声が掛り、栃木の会社に転職しました。以前、部下だった者が社長の会社だったので、私は良かれと思うことは、どんどん社長に進言し行動しました。拾われた者の役目と思い一生懸命やっていたのですが、結果は、余計なお世話だったようです。ある日、副社長から「社長から聞いたけど辞めるだって」と尋ねられ、社長からも「副社長から聞いたけど辞めるだって」と言われ、半年の猶予をもらい退職する事にしました。猶予期間中に転職先を見つけるべく就活をしましたが、どこも決まらず、仕方なく起業したのが有限会社アシモです。以前の経験があったので共同経営はしたくなかったのですが、取引先のブリヂストンの下請け会社の雇われ社長(元ブリヂストンの工場長)が退職後の糧として役員になる事を要求、資本金三百万円の三分の1を出資することとなりました。後に、この方が敵対的株主となり解消するのに往生する事となります。ですから、起業した数年は、起業して失敗したと感じていました。

創業 18 年、リーマンショックで必死に営業して取った派遣先がなくなったり、東日本震災で取引先の工場が倒壊し稼働停止があったり、一步進んで二歩下がる。いつも不安を抱えて経営する状態。少しでも緩和できないかと模索したのが今の状態です。当初の派遣業から、大きく4つの部門になりましたが、未だ発展途上であり。色々な事がありました。自分の思い出の地である上野ロータリークラブにお声掛けを頂き、皆様を前に、自分の半生を語られて貰える機会を作ってくれた、長岡会長、中澤幹事に改めまして感謝申し上げます。また、皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

水門竜哉会員 入会日 6月6日 推薦者 冨坂伸吾  
会員 木村節男会員



皆さんこんにちは、本日は新入会員としてイニシエーションスピーチの場を設けて頂きありがとうございます。スピーチは不慣れで言葉足らずな表現もあるかと思いますが何卒ご容赦頂きたいと思ひます。

さて、15分という私にとってはとても長い時間を頂き、何を話そうかと考えていたのですがまずは私の経営しております事業の説明からさせて頂き、私の子どもの頃からの話(少なからずロータリーが関わってくる)現在に至るまでの話をさせて頂きたいと思ひます。

#### ・電子部品流通協同組合について

秋葉原周辺にある電子部品を扱う商社をまとめてグループ傘下に収めた組合になります。前任の代表理事は水門憲和、私の父です。父は北海道出身で東京に上京後、秋葉原にてサンコー電機を起業その後、周りの同様な商社を集め組合を作り代表理事に就任しました。それを今年私が引き継いだ形になります。

電子部品とは基盤に組み込む IC チップや半導体などです。各グループの商社の経営の工程は大手から依頼された基盤に使う部品を集めて、基板工場へ依

頼、その後作成された基盤の検査を行い納品以上のような工程となっております。

当組合は昭和58年安倍晋三さんの父晋太郎氏が外務大臣の時に承認してもらいました。安倍晋三さんというと丁度1か月前になります。演説中に銃撃され凶弾に倒れるというショッキングな事件がありました。徐々に事件の背景が明るみになり犯人の動機など詳しく分かってきましたが犯人の生い立ちを見ると同情する部分もありますが、だからと言って暴力に頼っていいはずがありません。しかも恨みの矛先を当人ではなく他の第三者に向けているわけです。もちろん自民党議員の様々な疑惑、これが本当の事であれば決して褒められたものではないかもしれません。そうだとすると暴力に訴えることは間違った行為と考えております。自分の現状に不満があるから思い通りの状況にならないから、だから暴力に訴え社会問題化させ恨みを晴らす…こんな思考を決して許してはいけないと思っております。思い通りにならないから戦争始めたどこかの国もありますが、あちらは同情の余地なんてありません、最低な行為だと思っております。先に手を出したものが得をする手を出したもの勝ちのような世の中はあってはならないと思っております。

大きく脱線してしまいましたが、私がどのような考えを持った人間なのかという所を分かってもらえたらと思ってお話させて頂きました……嘘です時間稼ぎです。話を元に戻します。

電子部品流通協同組合ですが最盛期はグループ会社が20社ほどあったが現在は5社ほどになり、今の主な事業としては、すでに閉鎖した、脱退したグループ会社が持っていた工場を買い取り、他の企業に貸しております。それらの工場施設の管理などが主な仕事となっております。

組合の代表理事になる前はグループ会社のプリンテック・ジャパン(株)に所属しておりました。こちらの会社の業務は台湾との貿易会社で主にレジスターのアダプタを台湾から輸入、シチズンからの基盤開発依頼を受けての基盤の部品調達や製造販売を行っておりました。現在は、近年のコロナの影響もあり貿易関連の仕事はストップしています。

#### ・生まれについて

1976(昭和51年)年12月5日、父水門憲和の長男として生まれました、上に6歳離れた姉がおり中島実佳

会員と同級生です。家族構成としては、長男、長女、子どもが2人の4人家族です。長男は今年6歳になり、8月で2歳になる下の娘もコロナ渦で生まれたこともあり心配でしたが、お陰様で健康に生まれ、2人とも目の離せない時期になり毎日大騒ぎです

・小学校の頃のロータリーとのかかわり

父の勧めで、小学生の子どもが参加する夏キャンプを体験複数のロータリークラブでの主催で行い YMCA という団体のキャンプ場で行った。これが楽しい経験として記憶に残り後々大きくなってから YMCA での子どもを引率してのボランティア活動をするきっかけとなりました。また、クリスマスパーティーが毎年楽しみだった。これもロータリークラブの主催する精養軒でのパーティーだった事を後に知り幼少のころからロータリークラブにお世話になっていたことを実感しました。

・小中高校での活動

勉学よりもクラブ活動を通しての運動の方が楽しかった記憶があります。小学校: サッカー、剣道、中学校: バレーボール、高校: 帰宅部でしたが、その代わりに YMCA のボランティア活動に参加していました。

・大学での活動 YMCA 子どもを引率しての夏のアウトドアキャンプ、冬のスキー教室指導 BORO(乗馬) 大学でのサークル活動以上のような事をしておりました。

・趣味 スポーツ全般は自分でやるのも観戦するのも好きです。

・ケガの事

20代頃から左肩こりがひどく一年に一回肩が腫れて動かないという状況でしたが原因が分からず何件も病院を変えて検査した結果、原因は軟性腫瘍であるという事が判明し東大病院にて診断。解決には

- 1、手術→筋肉を取る
  - 2、痛みと付き合いながら、痛み止めで対処
- 2 択を迫られ現在は痛み止めで対応しています。

そのため激しい運動を控えているのが現状でスポーツは好きなのですが皆様を楽しんでいるゴルフをご一緒することが難しいかもしれません。

しかし病状と付き合いながらチャンスがあれば皆様とゴルフなど楽しみたいと思っております。

長くなりましたが以上でインシエーションスピーチとさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

本日の例会 8月22日(月)  
ミニオープン例会  
演題「私とミスタージャイアンツこと長嶋茂雄氏との秘話」  
(有)メディコム 代表取締役  
赤木 孝男氏 (紹介者 尾中哲夫会員)

次回の例会 8月29日(月)  
卓話 木村節男会員

8月8日新入会員歓迎会 浅草ビューホテルにて  
柴田良彦会員 5月9日入会



水門竜哉会員 6月6日入会



根本裕司会員 8月1日入会



杉本達哉会員 8月1日入会



8月8日(月) 16時～17時 浅草ビューホテル3階小会場に於いて、ロータリー情報委員会主催の『新会員研修会(在籍3年未満会員対象)』が行われました。委員長の塚田会員が講師となり、新会員の柴田会員、水門会員、根本会員、杉本会員4名、委員の山本会員と向井会員のほか、大野会員など数名が出席しました。

また、18時から27階の「シノワ唐紅花」に於いて、クラブ親睦委員会主催の新会員歓迎会『柴田会員、水門会員、根本会員、杉本会員の入会を祝う会』が行われました。コロナ第7波の中での開催でしたが、25名が出席して出席会員から歓迎の言葉や自分が新会員の時の思い出などを語りながら楽しく和やかに会を開くことができました。

園部クラブ親睦委員長

昨日は私ども新会員の歓迎会をご設営頂き、有難うございました。歴史ある、そして現在も素晴らしいメンバーで有られます諸先輩の皆様にご歓迎頂きました事を大変光栄に思い、そしてこれから微力ではございますが皆様と共に地域社会の発展に向けて奉仕して参る所存でございます。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。(杉本様からメールを頂きました)

青少年交換派遣学生 伊藤摩耶さんが2022年8月13日(土)羽田空港第3ターミナルよりシカゴ行きのUA/ANA便で出発しました。見送りにはスポンサークラブの東京上野ロータリーから長岡会長、江口カウンセラー、園部の3人が出向きました。閑散としている国際線ターミナルでしたが、伊藤さんご家族、祖父の浅草ロータリーの坂口さんご夫婦と子孫、学校の友人、地区青少年交換委員会の皆さん、ローテックス、派遣学生の仲間たちが集まり36名で盛大に見送りました。留学先は、アメリカペンシルバニア州ハリスバーグという町です。伊藤摩耶さんから毎月レポートが届くと思いますので、近況報告を楽しみに待ちましょう。

